



監視用

録画機能搭載防雨型

電動バリフォーカル赤外線暗視カメラ

型式 TSD-RUSD500AF

取扱説明書



目次

1.特徴	1
2.セット内容	1
3.安全上のご注意	2
4.使用上のご注意	3
5.各部の名称	4
6.設置方法	5
7.カメラとの接続	8
8.ライブ画面の操作	14
9.保存映像の確認	16
10.パスワードを変更	19
11.動体検知アラーム	20
12.ヒューマノイドアラーム	21
13.動体検知アラームの動作	22
14.アラーム周期設定	25
15.録画スケジュール	26
16.ビデオ・ストリーム	27
17.Wi-Fi	28
18.SD カード	29
19.時刻とタイムゾーン	30
20.メール送信	31
21.FTP アップロード	32
22.システム	33
23.デバイス情報	33
24.4 枚の写真(4 分割表示)	34
25.パソコンでの録画データの再生	34
26.製品仕様	36
27.修理について	36

※予告なしにデザイン等が変更になる場合があります。予め、ご了承ください。

この度は弊社製品をご購入頂き誠に有難うございます。

- ご使用の前に、こちらの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、「取扱説明書」は大切に保管し、必要なときにお読みください。

1.特 徴

- 500 万画素 CMOS センサー搭載の高解像度 microSD カード録画カメラ
- スマートフォンと直接接続して、ライブ映像や録画映像の確認と設定の変更が可能
- インターネット回線に Wi-Fi 接続することで、スマートフォンからの遠隔監視も可能
- 最大 256GB までの microSD カード録画に対応(約 14～20 日間の録画時間)
- 2.7～13.5mm の電動オートフォーカスバリアフォーカルレンズ搭載で、スマートフォンからの遠隔操作が可能
- 防水性能 IP66 相当なので、雨の降り掛かる屋外への設置が可能
- 赤外線照射機能による夜間撮影も可能（最長照射距離約 30m/赤外線照射時は白黒撮影）
※暗所で良好に撮影が可能な距離は半分程度とお考えください。
- 3DNR（デジタルノイズリダクション）機能により低照度撮影時のノイズを低減
- 対応 OS : Android/iOS APP

2.セット内容

ご使用前にセット内容を確認してください。



カメラ本体+アンテナ 1 本



AC アダプター



防犯ステッカー



防水コネクター一式



六角レンチ





取付ネジ・プラスチックアンカー各 3




3.安全上のご注意





- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ご使用者様や周囲の方への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを以下のように区分けして説明しています。これらは安全にご使用いただく上で重要です。
以下の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みにになり、記載事項を必ずお守りください。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分けして説明しています。

 警告 死亡または重傷を負うおそれがある内容	 注意 障害を負うおそれや、物的損害の発生のおそれがある内容
--	--

お守り頂く内容の種類を絵表示で区分けして説明しています。

 してはいけない内容 (禁止)	 必ず行って頂く内容 (必ず守る)	 注意しなければならぬ内容 (注意)
--	--	---

 警告	
 (禁止)	<ul style="list-style-type: none"> ■煙が出る、変な臭いや音がする、高温になるなどの異常を感じた時は、必ずACアダプターをコンセントから抜き電源を切ってください。 ■機器内部に水や異物が入った場合には、必ずACアダプターをコンセントから抜き電源を切ってください。感電やケガのおそれがあります。 ■機器を落としたりするなどの強い衝撃を与えた場合、必ずACアダプターをコンセントから抜き電源を切ってください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。 ■分解したり、改造は絶対に行わないでください。発火したり、異常動作をするおそれがあります。 ■濡れた手で電源プラグに触らないでください。感電するおそれがあります。 ■ACアダプターは、コンセントや配線器具の定格を超える使い方やAC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となります。 ■電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、加熱したりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。火災や感電のおそれがあります。 ■電源には、必ず付属のACアダプターを使用してください。他の機器のACアダプターは絶対に使用しないでください。故障や火災の原因となります。 ■雷が鳴りだしたら、ACアダプターに触らないでください。感電のおそれがあります。
 (注意)	<ul style="list-style-type: none"> ■機器内部に水や異物を入れないでください。万が一、水が入ったり、異物が入った場合には、直ぐにコンセントを抜き、電源を切ってください。そのまま使用を続けると火災や感電の原因になります。 ■配線工事は安全・確実に行ってください。誤った配線工事は、火災・感電・事故の原因となります。 ■ACアダプターは、コンセント、機器本体にしっかりと差し込んでください。接触不良が発生したり、隙間に埃がたまり火災の原因となります。ACアダプターは、定期的に取り外して掃除してください。
 (必ず守る)	<ul style="list-style-type: none"> ■ACアダプターをコンセントから抜く時は、電源コードを持たずに必ずACアダプター本体を持って引き抜いてください。感電・ショート・発火のおそれがあります。

注意

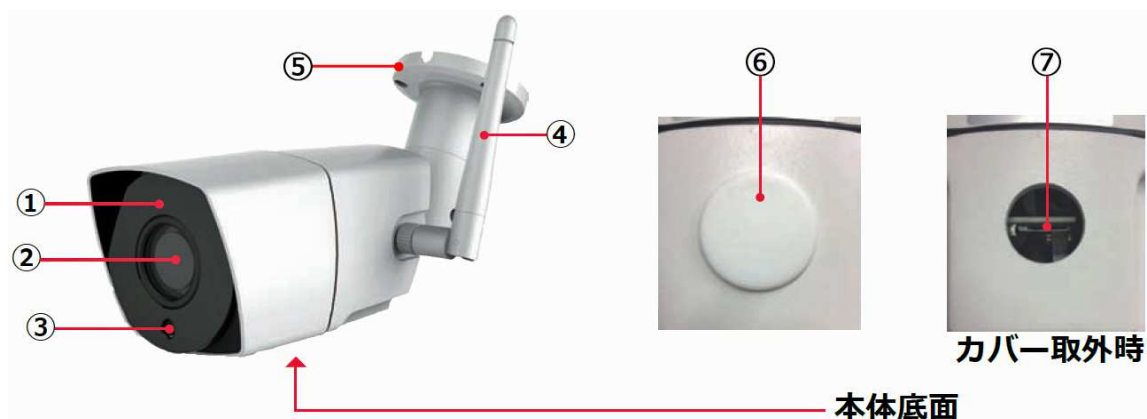


- ヒーターなどの熱源のある場所には設置しないでください。また、直射日光のあたる場所への設置は、できるだけ避けてください。機器内部の温度が上昇すると、故障の原因となります。
- 振動のない安定した場所に設置してください。
- 落雷の発生が予想される場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。故障の原因となる場合があります。
- 製品の表面は、乾いた布で軽く拭いてください。化学薬品や洗剤などは、表面を変質させる場合がありますので、絶対に使用しないでください。
- 機器を落下させたり、衝撃を与えないでください。
- モーター類などを搭載した機器とは、電源を別系統にして配線してください。また、できるだけ近くには設置しないでください。ノイズなどの影響を受け、録画データや動作に異常が発生する場合があります。

4.使用上のご注意

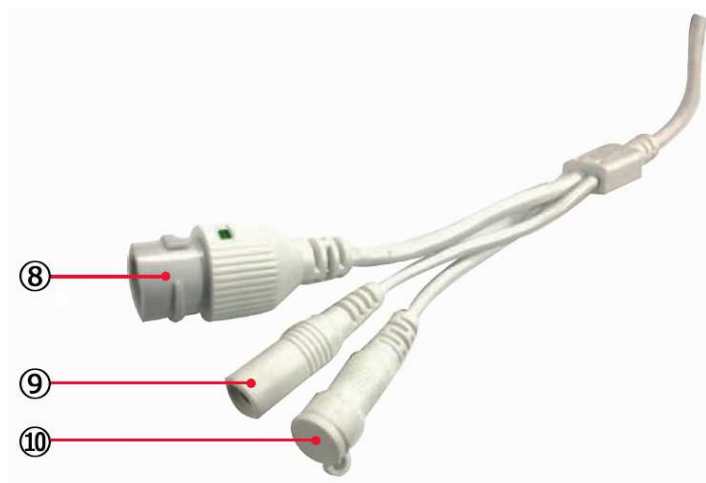
- 本機の入力規格を超えた電圧や電流は絶対に入力しないでください。
- 正しい接続を行ってください。接続を間違えますと機器にダメージを与えることがあります。
- 本機は完全防水構造ではありません。
強い雨などが直接かかる場所での使用は、できるだけ避けてください。
また、寒暖の差が激しい場所へ設置した場合は、カメラ内部が結露する場合があります。
- 電源の変動や電源ノイズの多い環境、強い電磁波がある環境では、機器の誤動作が発生する危険性がありますので、設置場所を変更するか、必要なノイズ対策（ノイズフィルターや電磁波シールド等）を行ってください。
- 本機を暖房機器の温風が直接あたる場所への設置は避けてください。
内部の電気部品の寿命を縮める原因になります。
- 本機を密閉した状態で使用しないでください。
放熱効果が遮断されるため故障の原因となります。
- 化学薬品や洗剤を使用した清掃は機器を痛める場合があります。
- 高電圧を発生している装置（エアコンの室外機、モーター、コンプレッサーなど）の近くには設置しないでください。映像の乱れなどの影響を及ぼす場合があります。
- 太陽光や街灯の光などを直接撮影しないでください。
- 不当な修理や改造は絶対にお止めください。
- 設置が不十分ですと、落下等の危険がありますので、本機の設置は確実に行ってください。
- 設置後、本機がしっかりと固定され、脱落の危険性がないことを必ずご確認ください。
- 録画が正常に動作しているか定期的に確認をしてください。
録画に使用する microSD カードは、消耗品です。書き込み回数などの仕様により寿命が異なりますので、ご注意ください。
- microSD カードの抜き差しは、必ずカメラの電源がオフの状態で行ってください。
- 停電や定期点検などにより、不意に配電が停止した場合は、必ず動作確認を行ってください。
レンズの画角を再度調整する必要があります。

5.各部の名称



①	赤外線 LED	⑤	ブラケット
②	レンズ	⑥	底面カバー
③	明るさセンサー	⑦	microSD カードスロット
④	アンテナ		

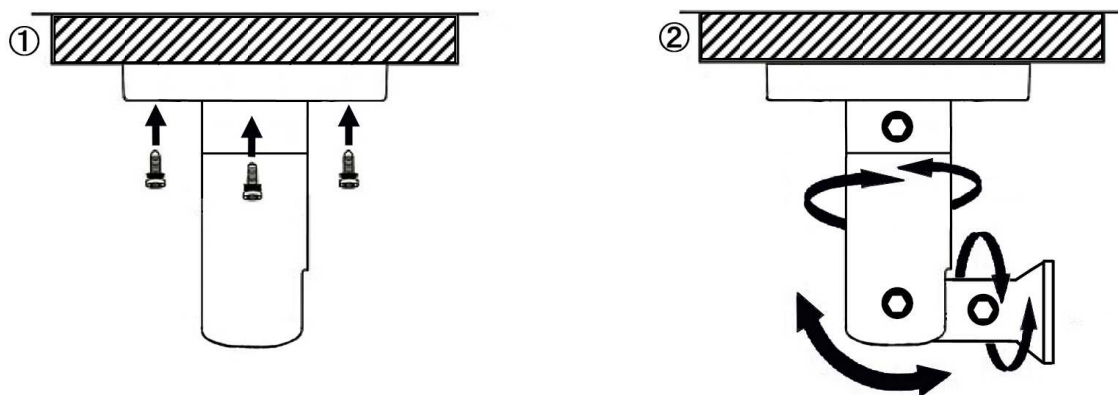
■カメラ背面ケーブル■



⑧	LAN 端子：有線運用時に LAN ケーブルを接続
⑨	電源入力端子：付属の AC アダプターを接続
⑩	リセットボタン：10 秒間長押しで初期化

6.設置方法

■ブラケット部の固定方法■



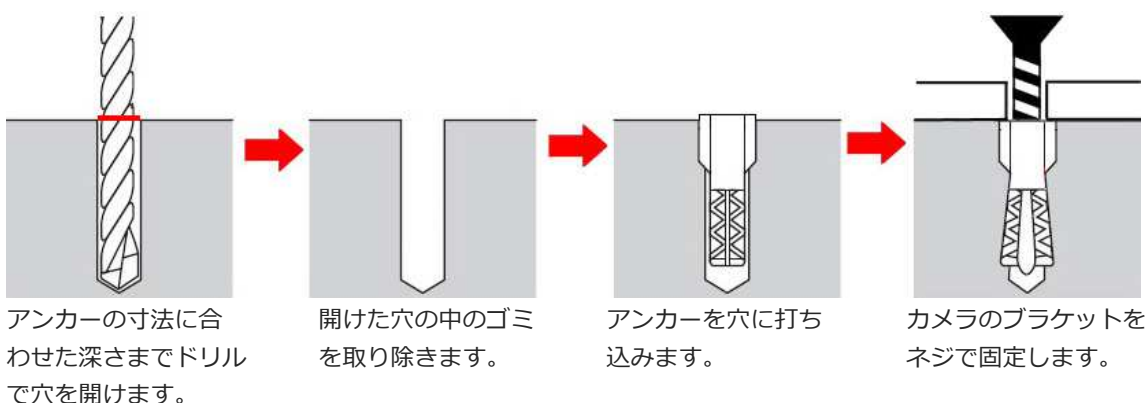
①付属のネジ3本にて、ブラケット部を設置面へ固定します。

②付属の六角レンチを使い、ブラケットの固定ネジを3ヶ所緩め、カメラの角度を調節します。
カメラの角度が決まったら、ブラケット固定ネジを締め付けます。

※雨の降りかかる屋外に設置する場合は、ブラケットの付根などに防水処理をすることをお勧めします。

■プラスチックアンカーの使用法■

設置面の材質が、石膏ボードやコンクリートなどの場合は、付属のプラスチックアンカーを使用します。



アンカーの寸法に合わせた深さまでドリルで穴を開けます。

開けた穴の中のゴミを取り除きます。

アンカーを穴に打ち込みます。

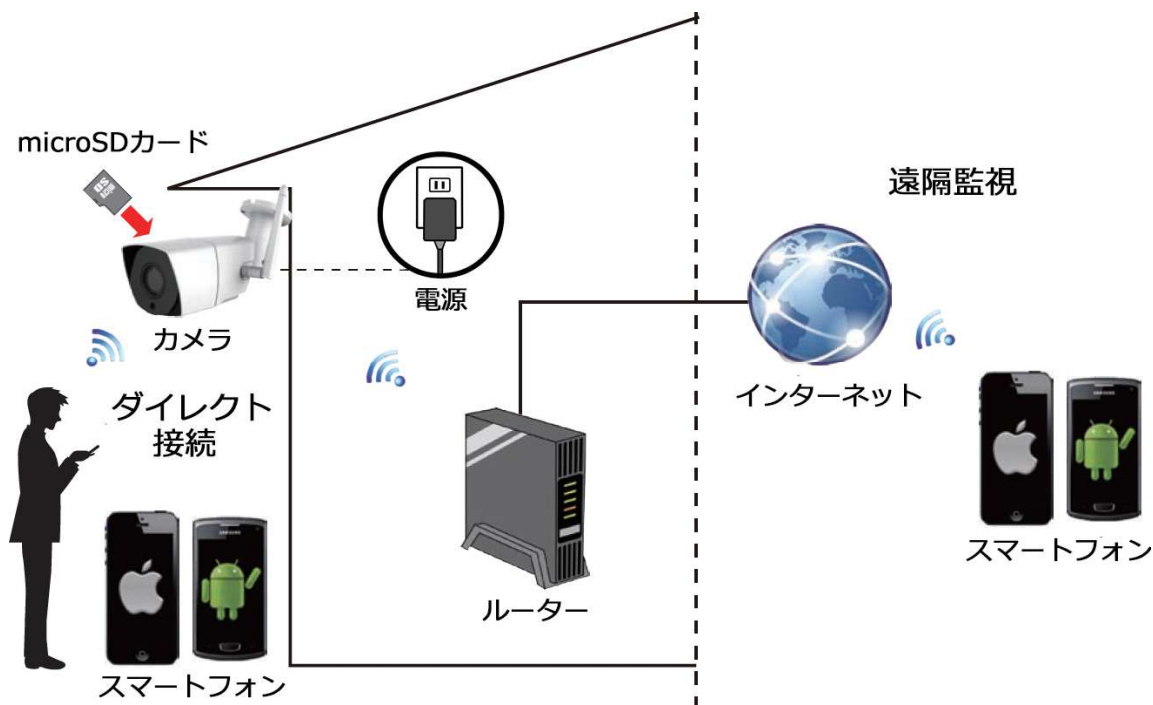
カメラのブラケットをネジで固定します。

※コンクリートなどに穴を開ける場合は、専用工具を使用してください。

※壁裏が空洞でネジが外れてしまう場合は、市販の中空壁ボードアンカーなどを使用してください。

設置面の材質や構造に合わせて、適したネジやアンカーを使用してください。

■ 接続イメージ ■

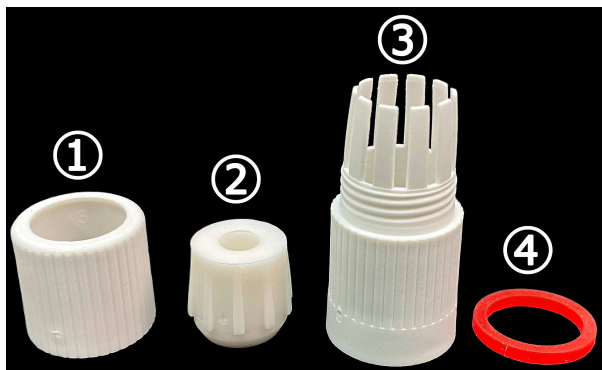


- ・カメラ背面ケーブルの端子部は、防水構造ではありません。接続部が屋外になる場合は、付属の防水コネクタや市販の自己融着テープなどでしっかりと防水処理をしてください。
- ・録画用の microSD カード(別売)を microSD カードスロットへ挿入してください。
- ・遠隔監視をする場合は、スマートフォンとルーターが Wi-Fi 接続されていることを確認してください。
- ・APP ストアまたは、Google Play ストアより、専用アプリ「CamHi」を検索してインストールします。

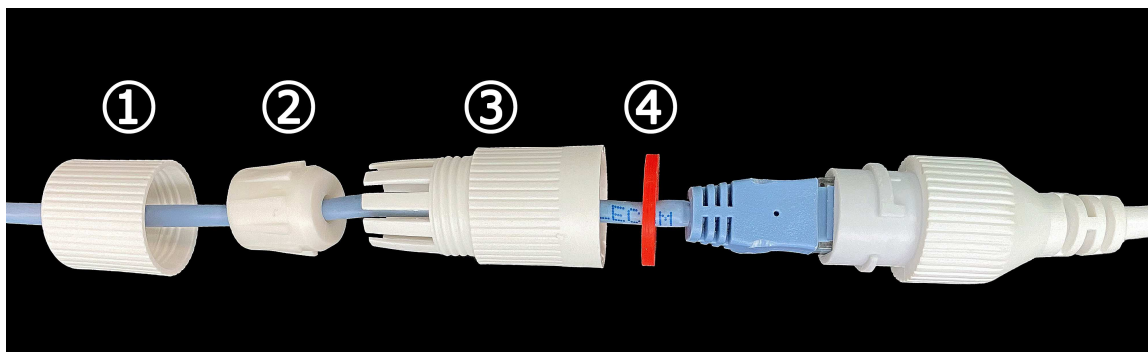


■ 防水コネクターの使用方法 ■

カメラ背面ケーブルの LAN 端子の接続部が屋外になる場合は、付属の防水コネクターを使用して防水処理をしてください。



防水コネクターのパーツの向きに注意して、①②③④の順番で LAN ケーブルにパーツを通します。

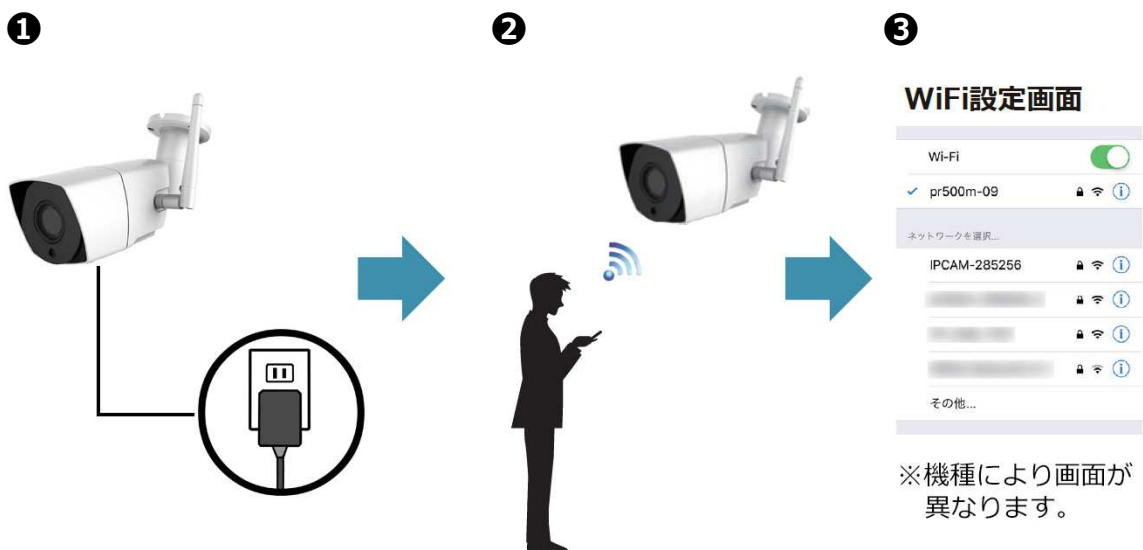


LAN ケーブルの端子の形状や大きさで、防水コネクターに収まらない場合があります。
LAN ケーブルと防水コネクターの隙間には、市販のコーキング剤などで防水処理をすることをお勧めします。

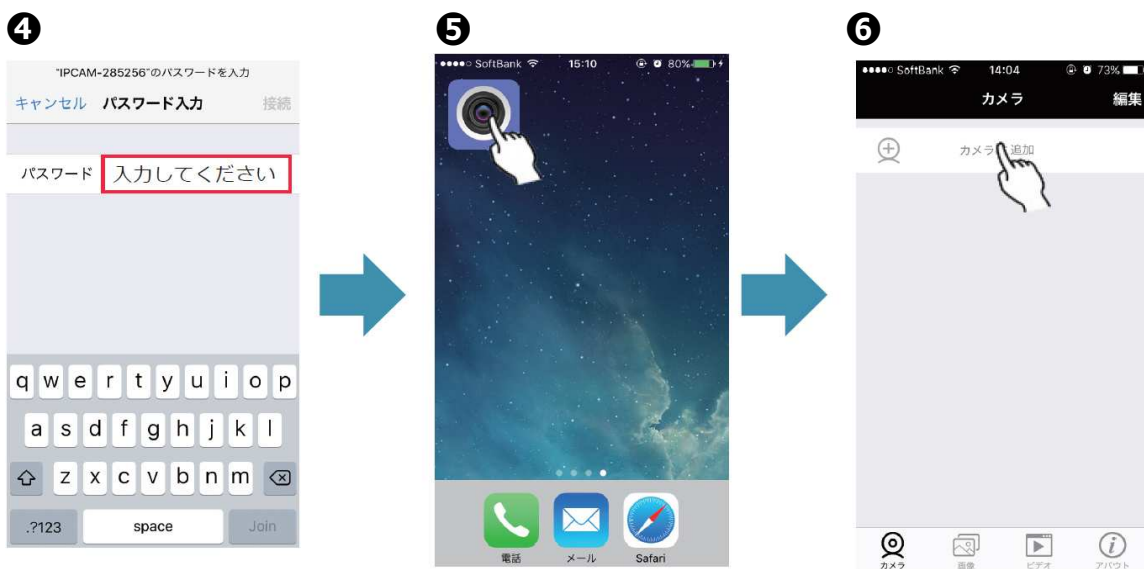
7.カメラとの接続

■ダイレクト接続■

スマートフォンとカメラを直接接続します。



- ① 付属の AC アダプターをカメラの電源入力端子へ接続して起動します。
- ② 起動したカメラの周辺にて、スマートフォンより Wi-Fi 設定を表示します。
- ③ スマートフォンの設定画面上に表示される Wi-Fi 一覧より、「IPCAM」で始まる Wi-Fi 名を選択します。

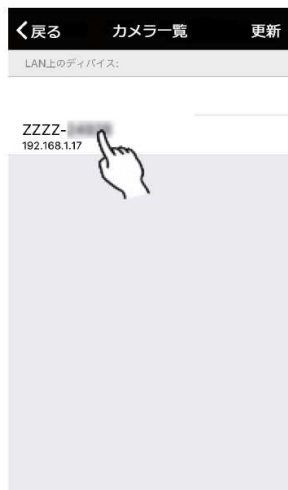


- ④ カメラの Wi-Fi パスワードを入力して接続をします。 ※パスワード : 01234567
- ⑤ スマートフォンの「CamHi」をタップしてアプリを起動します
- ⑥ 起動後の画面から「カメラを追加」をタップします。

7



8



9



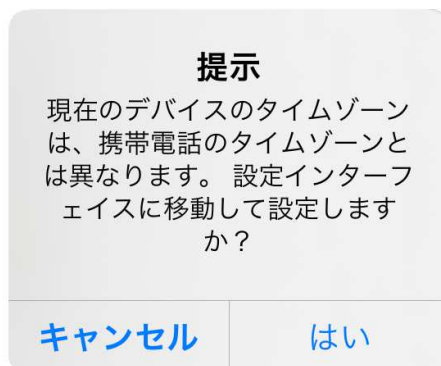
⑦カメラの追加画面から「LAN 内のカメラを検索」をタップします。

⑧カメラ一覧が表示されますので、カメラの ID をタップします。

※何も表示されない場合は、アプリを再起動してください。

⑨カメラの追加画面が表示されますので、「完了」をタップします。

10



⑩カメラリストにカメラが追加されると、タイムゾーン設定の案内が表示されます。

インターネットに接続して遠隔監視をする場合は、「はい」をタップしてタイムゾーンの設定をしてください。(29 ページを参照)

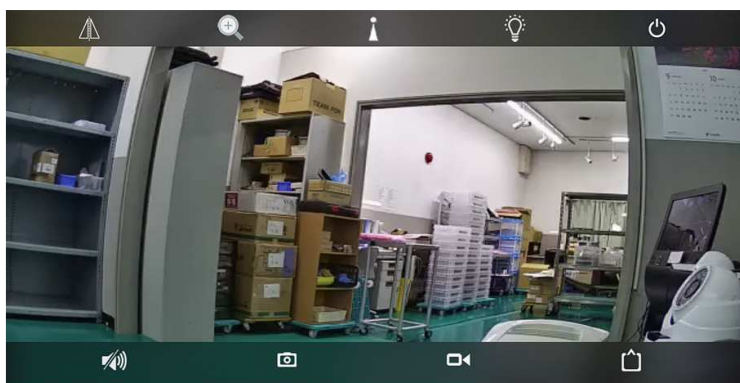
タイムゾーンの設定をしない場合は、「キャンセル」をタップします。

11



- ⑪カメラリストに追加されたカメラをタップすると、パスワード設定の案内が表示されます。
「はい」をタップして、大文字小文字の英数字で 8 桁以上のパスワードを必ず設定してください。
(18 ページを参照)

12



- ⑫パスワード設定が完了すると、カメラリストに戻りますので、カメラの表示が「接続済」になるのを待ってから、カメラを再度タップします。
カメラの映像がスマートフォンの画面に表示されます。

注意!

インターネット未接続が原因でダイレクト接続ができない場合は、スマートフォンの機内モード設定をお試しください。
アプリの権限要求については、原則として全て「許可」としてください。
設定したパスワードを忘れてしまった場合は、リセットボタンを押して初期化をしてください。

■ Wi-Fi 情報の確認 ■

本製品の映像を遠隔地より確認したい場合は、Wi-Fi接続が可能なルーターとWi-Fi接続済みのスマートフォンが必要となります。

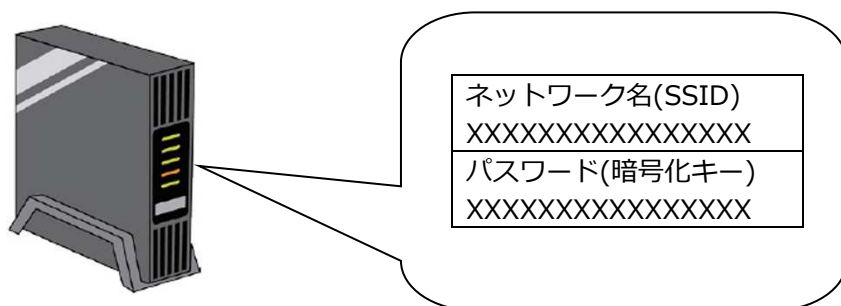
また、カメラの遠隔設定時には、ルーター情報が必要となりますので、事前にご確認ください。

※お使いのルーター、スマートフォンの機種によって異なる場合があります。

詳細はご利用機種のメーカー様へご確認ください。

SSID/パスワードの確認

ルーター本体または、付属品に記載されているSSIDとパスワードを確認してください。



※メーカーによって表記が異なる場合があります。

スマートフォン側のWi-Fi設定にて、SSIDとパスワードが正確に設定されていることを確認してください。

※正確な設定が行われていない場合は、スマートフォンの設定を再度確認してください。



ルーターの Wi-Fi パスワードを変更している場合は、変更したパスワードを入力してください。

ご利用頂ける周波数帯は、2.4GHz となります。

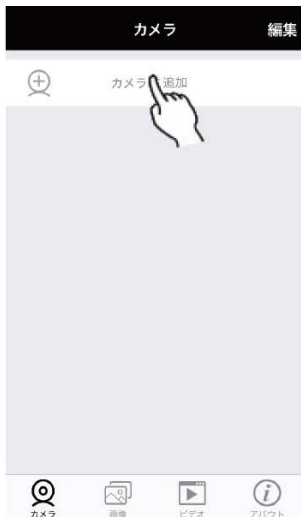
5GHz 帯はご利用頂けませんので、ご注意ください。

■有線による遠隔監視設定■

①



②



③



①カメラとルーターをLAN ケーブルにて接続します。

②「CamHi」を起動し、起動後の画面から「カメラを追加」をタップします。

③カメラの追加画面から「LAN 内のカメラを検索」をタップします。

または「QR コードスキャナー」をタップしてカメラの QR コードを読み取ります。

④



⑤



④カメラ一覧が表示されますので、カメラの ID をタップします。

⑤カメラの追加画面が表示されますので、「完了」をタップします。

重要!

カメラ一覧にカメラの ID が表示されない場合は、以下の点をご確認ください。

- ・カメラとルーターが LAN ケーブルで接続されているか。
- ・スマートフォンがルーターに Wi-Fi で接続されているか。
- ・カメラとスマートフォンが同じルーターに接続されているか。

■ Wi-Fi 接続による遠隔監視設定 ■

①



②



③



①ルーターの Wi-Fi が届いている環境で、カメラとスマートフォンをダイレクト接続します。
(8 ページを参照)

②「CamHi」を起動し、カメラリストの設定アイコン⚙️をタップして、カメラの設定画面を表示させます。カメラの設定画面で「Wi-Fi」をタップします。

③Wi-Fi 設定画面より、「Wi-Fi マネージャー」をタップします。

④



⑤



⑥



④カメラ周辺の Wi-Fi 一覧が表示されますので、お使いのルーターの SSID を選択します。

⑤パスワードを入力して「適用」をタップします。

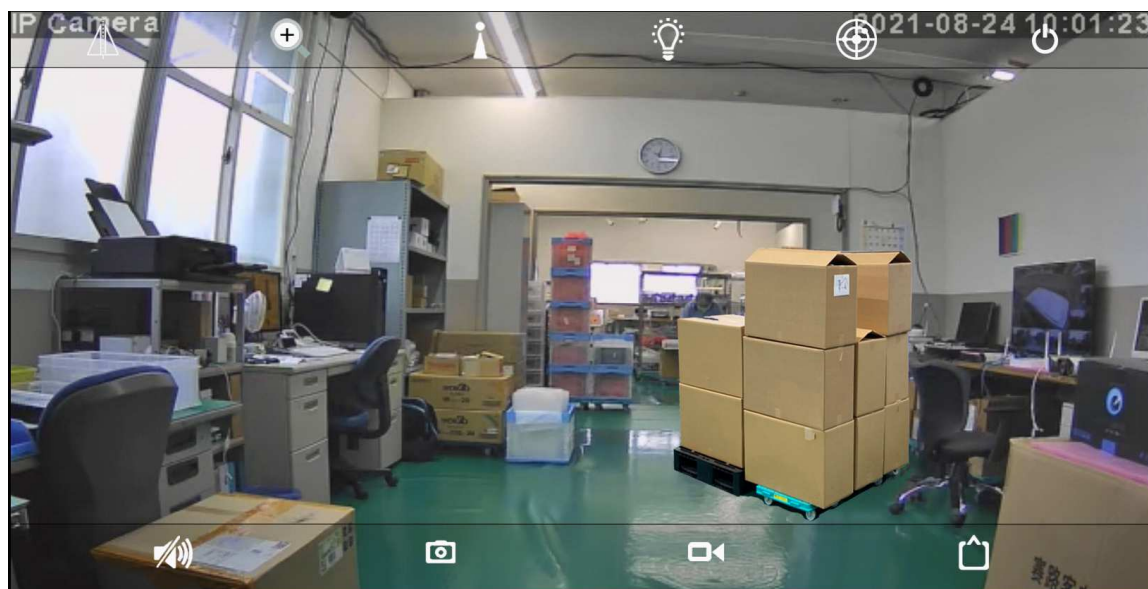
⑥設定完了後に、Wi-Fi 経由にて映像が確認できます。











確認!

Wi-Fi を設定するためには、お使いのルーターの情報が必要です。
ルーター本体または、付属品に必ず SSID とパスワードが記載されています。
記載がなく、情報が不明確な場合は、ルーターのメーカー様へお問い合わせください。

8.ライブ画面の操作

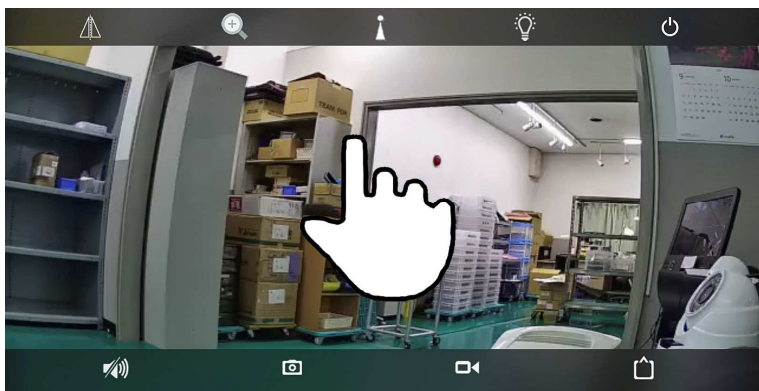
ライブ画面では、画面の上下に表示されているアイコンをタップすることで操作が行えます。



	映像の上下左右反転をします。
	レンズのズームイン・ズームアウトを操作します。
	プリセット機能 ※本機では使用しません。
	暗視モードを設定します。「暗視」「カラー暗視」「スマートモード」
	自動追尾機能 ※本機では使用しません。
	ライブ画面を終了します。
	音声のオン/オフ ※本機では使用しません。
	ライブ映像を静止画で保存します。
	ライブ映像を動画で保存します。
	高画質表示(HD)と基本画質表示(SD)の切り替えをします。

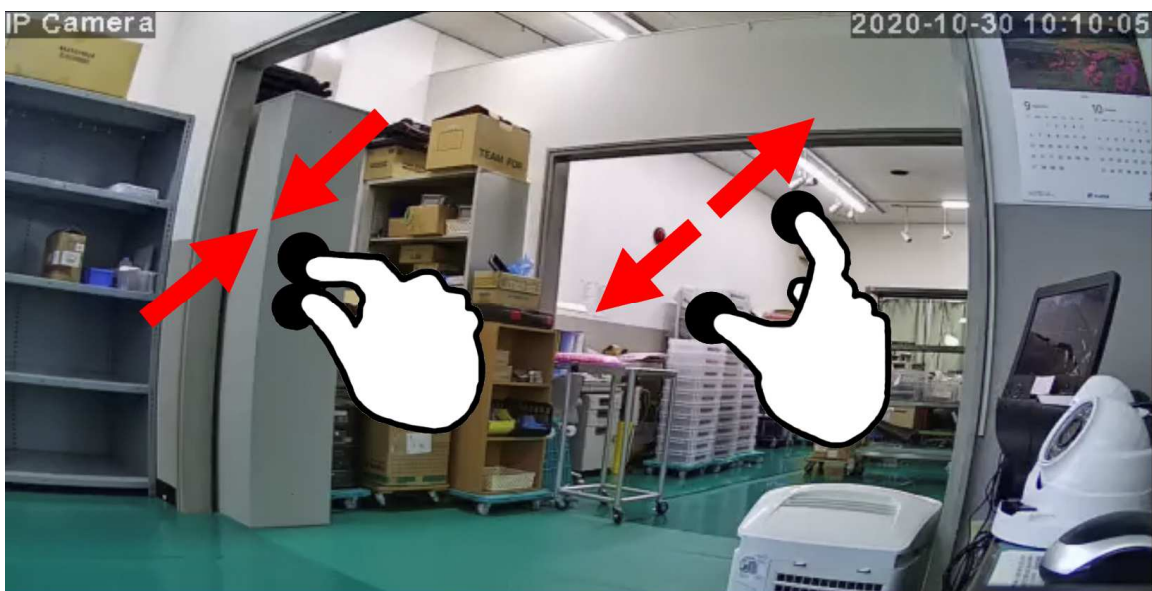
■アイコン表示■

画面上をタップすると、上下のアイコンが表示/非表示になります。



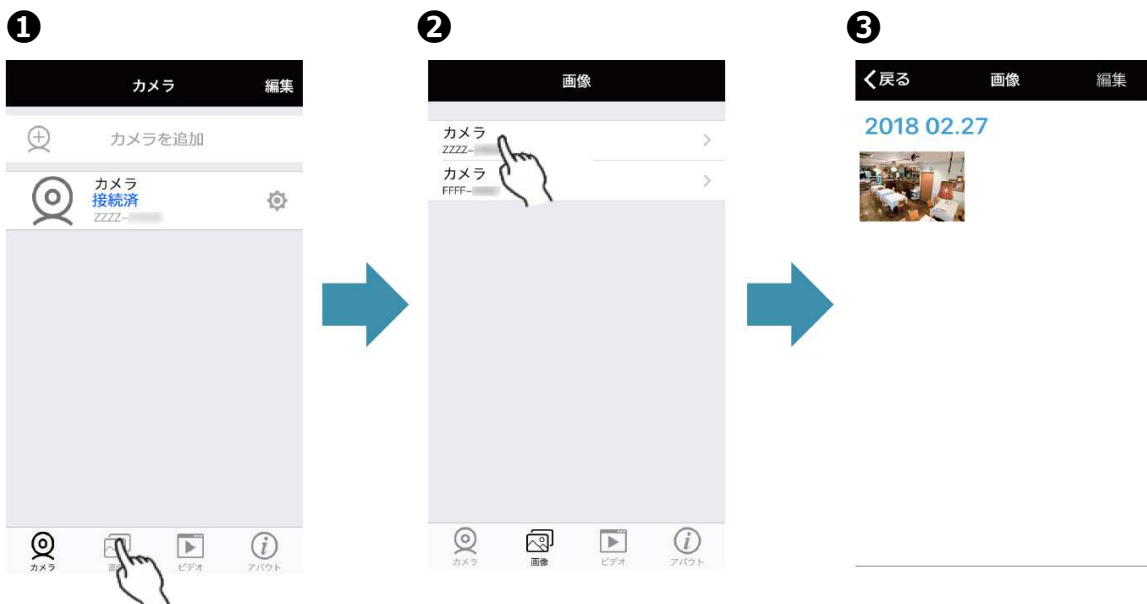
■映像の拡大/縮小■

画面上をピンチイン/ピンチアウトすると、映像が拡大/縮小します。



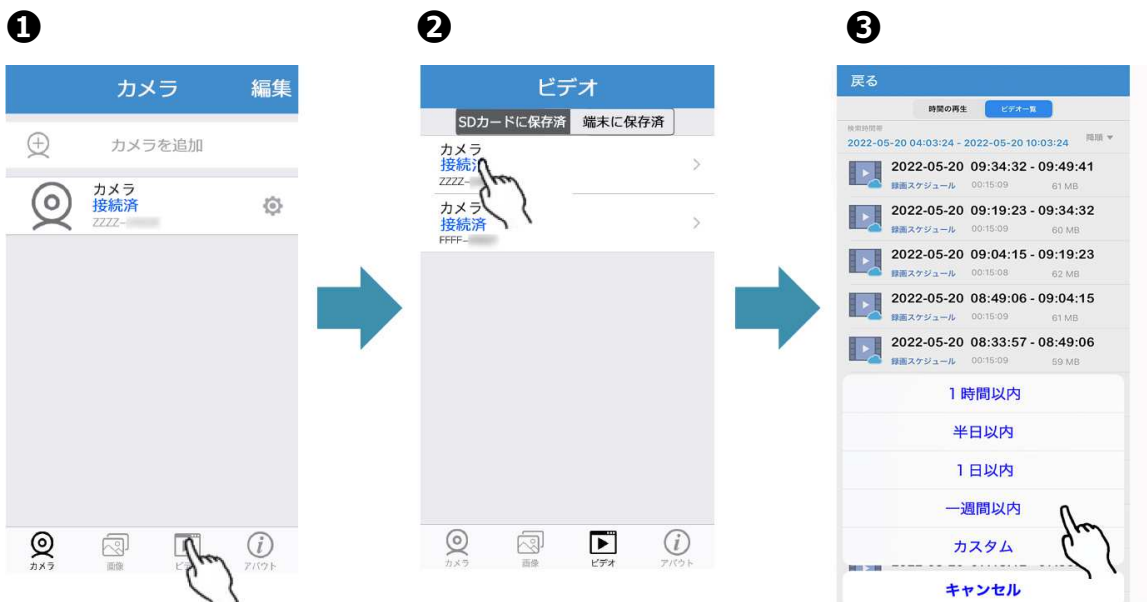
9.保存映像の確認

■ 静止画の確認 ■



- ①カメラリスト画面下の「画像」アイコンをタップします。
- ②画像画面で、静止画を確認するカメラをタップします。
- ③保存されている静止画リストが表示されますので、タップすると静止画を表示します。

■ 動画の確認 ■



- ①カメラリスト画面下の「ビデオ」アイコンをタップします。
- ②ビデオ画面で、録画映像を確認するカメラをタップします。
- ③ビデオ一覧画面右下の「検索アイコン」をタップして、録画映像を確認する期間を選択します。

4

ビデオ一覧
検索
(ZZZZ-)

検索時間帯

2018-03-05 10:55:11 - 2018-03-05 16:55:11

2018-03-05 16:46:11 - 16:51:15	スケジュール録画	00:05:04	33 MB
2018-03-05 16:41:08 - 16:46:11	スケジュール録画	00:05:03	34 MB
2018-03-05 16:36:05 - 16:41:08	スケジュール録画	00:05:03	34 MB
2018-03-05 16:31:00 - 16:36:05	スケジュール録画	00:05:05	32 MB
2018-03-05 16:25:55 - 16:31:00	スケジュール録画	00:05:05	34 MB
2018-03-05 16:20:51 - 16:25:55	スケジュール録画	00:05:04	33 MB
2018-03-05 16:05:42 - 16:10:45	スケジュール録画	00:05:03	34 MB

録画されている時間帯が表示されます。

ファイルサイズが表示されます。

ファイルの長さが表示されます。

録画の種類（スケジュール/ 動体検知）が表示されます。

④選択した期間の録画データが表示されますので、録画映像を確認するファイルをタップします。



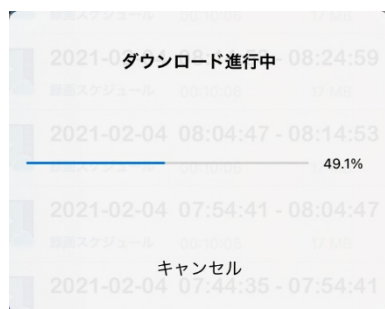
⑤「再生」をタップすると、選択した録画データの再生を開始します。



再生を一時停止

シークバーを動かして再生を早送り/早戻し

⑥録画データをスマートフォンへ保存する場合は、「ダウンロード済」をタップします。

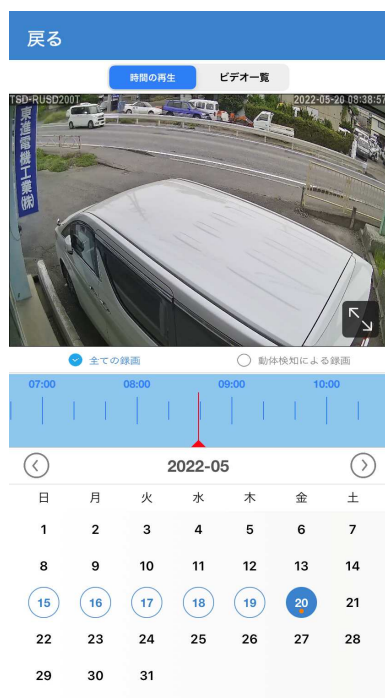


選択した録画データが、「端末に保存済」へ保存されます。



ビデオリストから録画データを保存したカメラを選択し、録画リストの [] をタップします。変換された録画データが、スマートフォンのアルバムに保存されます。

⑦録画データをカレンダーから再生する場合は、③の録画検索画面で「時間の再生」を選択します。



録画データがある日付が青色で表示されます。カレンダーから再生する日付をタップすると選択した日付の録画データの先頭から再生を開始します。タイムバーをタップして、再生時刻を移動します。

10.パスワードを変更

セキュリティ向上のため、ご利用開始前にパスワードの変更をしてください。



- ①カメラリストから設定をするカメラの設定アイコン⚙️をタップします。
- ②カメラの設定画面で「パスワードの変更」をタップします。
- ③「旧パスワード」へ現在のパスワードを、「新パスワード」へ変更するパスワードを入力します。
※パスワードは、大文字小文字の英数字で8桁以上に設定してください。



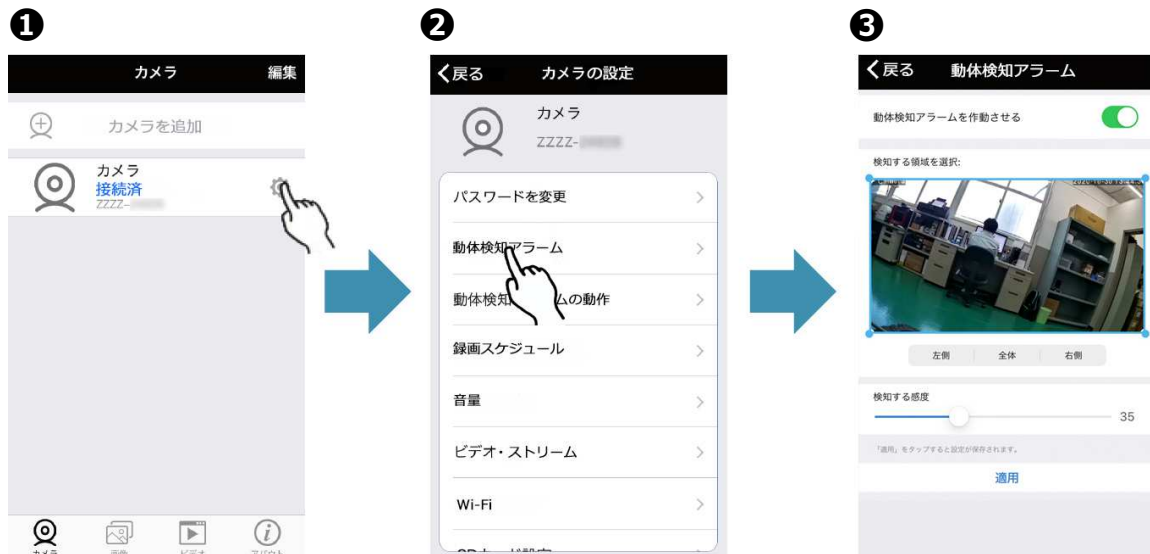
- ④新パスワードを再度入力して「適用」をタップすると、パスワードが変更されます。



変更したパスワードは、絶対に忘れないようにしてください。
パスワードを忘れてしまった場合は、リセットボタンを押して設定の初期化をしてください。(全ての設定が初期化されます。)

11. 動体検知アラーム

カメラの撮影範囲内で動きがあった際の動体検知アラーム機能の領域と感度を設定します。



- ①カメラリストから設定をするカメラの設定アイコン⚙️をタップします。
- ②カメラの設定画面で「動体検知アラーム」をタップします。
- ③スライドボタンで、動体検知アラームのオフ(左)/オン(右)を設定します。



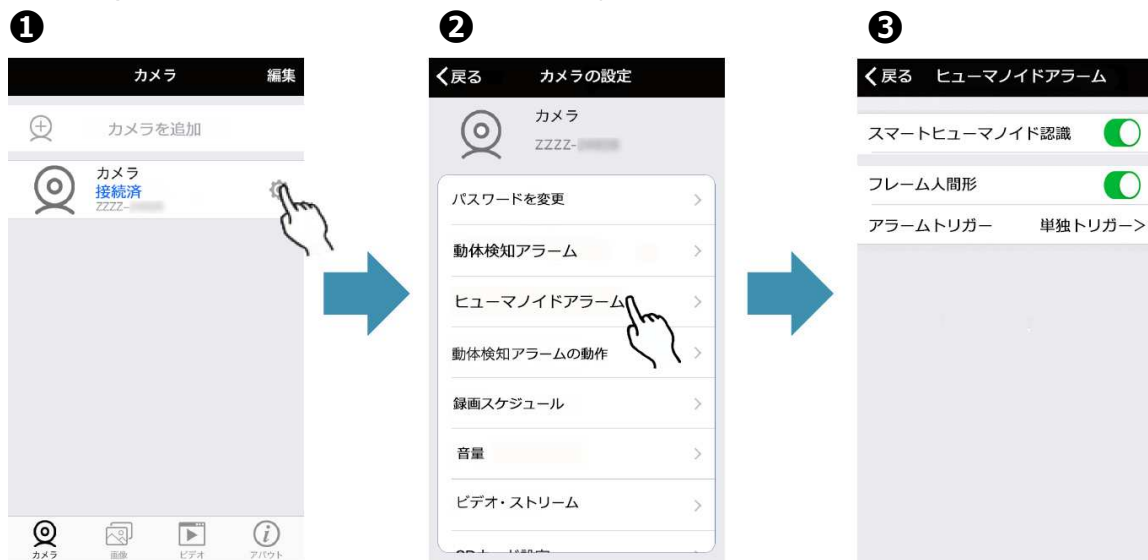
- ④検知する領域と検知する感度を設定して「適用」をタップします。

注意!

ヒューマノイドアラームとの同時使用はできませんので、ヒューマノイドアラームの設定をオフにしてください(20 ページ参照)

12. ヒューマノイドアラーム

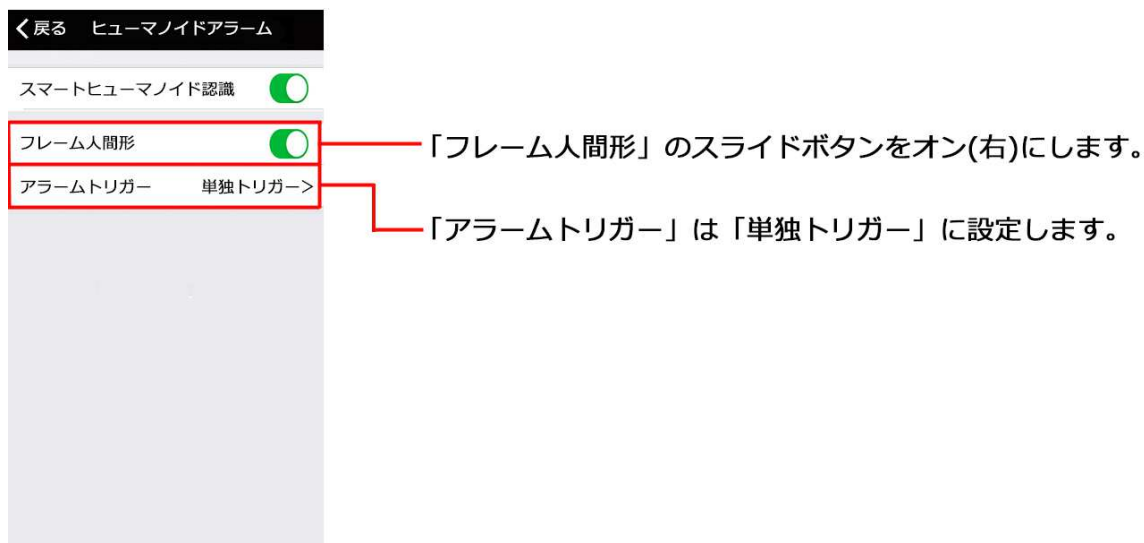
カメラの撮影範囲内で人間のみを検知して、黄色枠で表示するアラーム機能です。



①カメラリストから設定をするカメラの設定アイコン⚙️をタップします。

②カメラの設定画面で「ヒューマノイドアラーム」をタップします。

③スライドボタンで、「スマートヒューマノイド認識」をオン(右)にします。



注意!

動体検知アラームとの同時使用はできませんので、動体検知アラームの設定をオフにしてください(19 ページ参照)

ヒューマノイドアラームで録画を行う場合は「動体検知アラームの動作」を設定してください。(21～23 ページ参照)

録画が正常に行われない場合は、「動体検知アラーム」での録画をご利用ください。

13. 動体検知アラームの動作

カメラの撮影範囲内で動きがあった際の動体検知アラーム機能の動作の設定をします。



- ①カメラリストから設定をするカメラの設定アイコン^①をタップします。
- ②カメラの設定画面で「動体検知アラームの動作」をタップします。
- ③スライドボタンで、各動作の設定をオフ(左)/オン(右)します。

アプリでの通知



「アプリでの通知」を「オン」にすると、人体検知が反応した際に、スマートフォンへ通知が表示されます。

動画をSDカードに保存



動く物体を検知



「動画をSDカードに保存」を「オン」にすると、人体検知が反応した際に、カメラに挿入している microSD カードに録画をします。

注意!

録画をする場合は、必ず microSD カード(別売)をカメラへ挿入してください。
※最大 256GB まで対応

画像をメールで送信



動く物体を検知

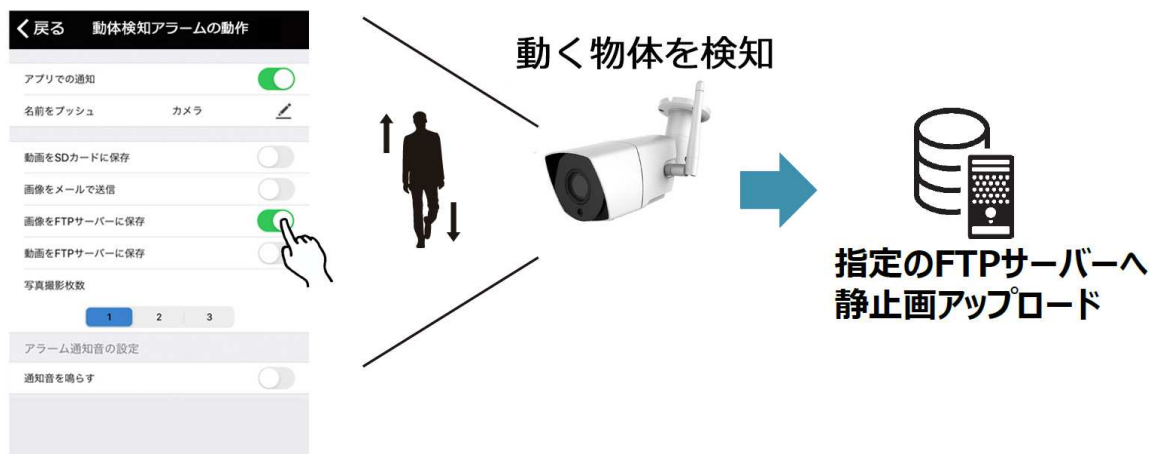


「画像をメールで送信」を「オン」にすると、人体検知が反応した際に、映像を静止画撮影して指定したメールアドレスへ送信します。

注意!

Eメール送信をする場合は、別途メール送信設定が必要です。
(30 ページ参照)

画像を FTP サーバーに保存

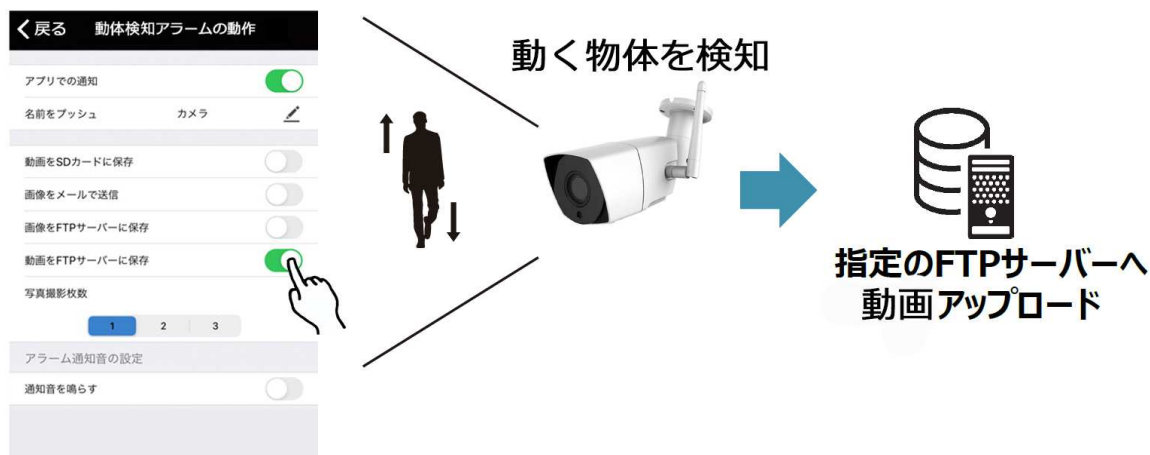


「画像を FTP サーバーに保存」を「オン」にすると、人体検知が反応した際に、映像を静止画撮影して指定した FTP サーバーへ送信します。

注意!

FTP サーバーへ送信をする場合は、別途 FTP アップロード設定が必要です。
(31 ページ参照)

動画を FTP サーバーに保存



「動画を FTP サーバーに保存」を「オン」にすると、人体検知が反応した際の動画を指定した FTP サーバーへ送信します。

注意!

FTP サーバーへ送信をする場合は、別途 FTP アップロード設定が必要です。
(31 ページ参照)

アラーム通知音の設定

本機では使用できない機能です。

14.アラーム周期設定

アラーム動作のスケジュールを設定します。



- ①カメラリストから設定をするカメラの設定アイコン⚙️をタップします。
- ②カメラの設定画面で「アラーム周期設定」をタップします。
- ③「高度な設定」を選択します。(終日有効にする場合は「簡単なセットアップ」を選択します。)



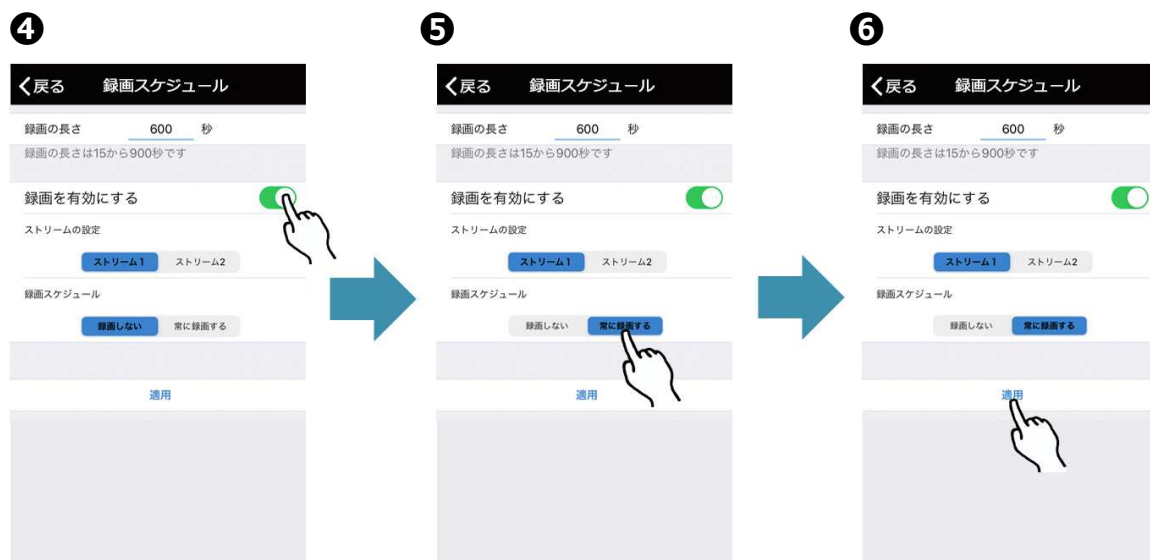
- ④「クイック編集」をタップします。
- ⑤設定する曜日の左側にチェックを入れて「時間領域を追加する」をタップします。
一日中有効にする場合は「1日に設定」、一日中無効にする場合は「1日中開いている」をタップします。
- ⑥「録画開始時間」と「録画終了時間」を設定して「追加する」をタップします。
同じ曜日に複数の時間帯を設定する場合は、設定を繰り返し行ってください。

15.録画スケジュール

連続録画の設定をします。



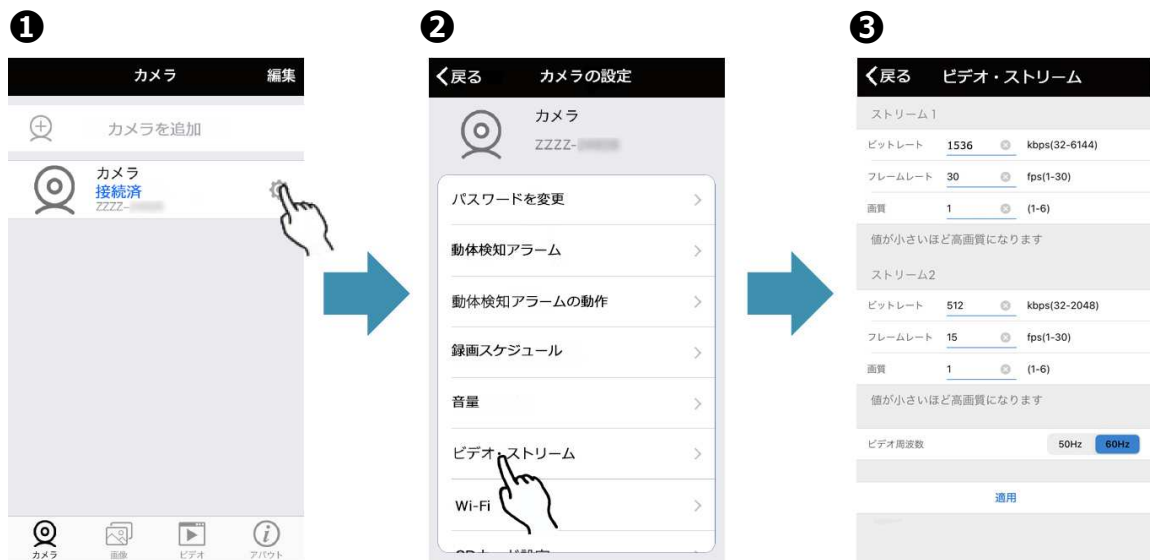
- ①カメラリストから設定をするカメラの設定アイコン⚙️をタップします。
- ②カメラの設定画面で「録画スケジュール」をタップします。
- ③録画スケジュール画面の「録画の長さ」で録画ファイルの区切りの時間を 15～900 秒より設定します。



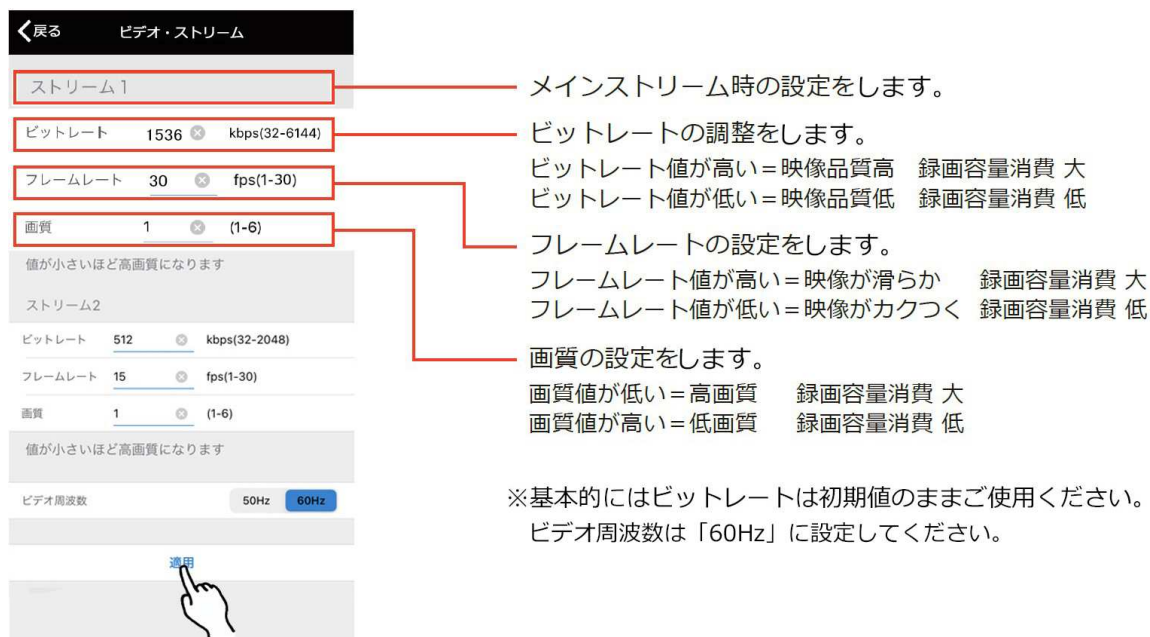
- ④「録画を有効にする」を「オン」にします。
 - ⑤「ストリームの設定」から「ストリーム 1」または「ストリーム 2」を選択して、「録画スケジュール」から「常に録画する」をタップします。
 - ⑥「適用」をタップすると、連続録画が開始されます。
- ※「ストリーム 1」「ストリーム 2」の設定は、26 ページをご確認ください。

16.ビデオ・ストリーム

録画条件に関する設定をします。



- ①カメラリストから設定をするカメラの設定アイコン^①をタップします。
- ②カメラの設定画面で「ビデオ・ストリーム」をタップします。
- ③ビデオ・ストリーム画面で、録画の「ビットレート」「フレームレート」「画質」を設定します。

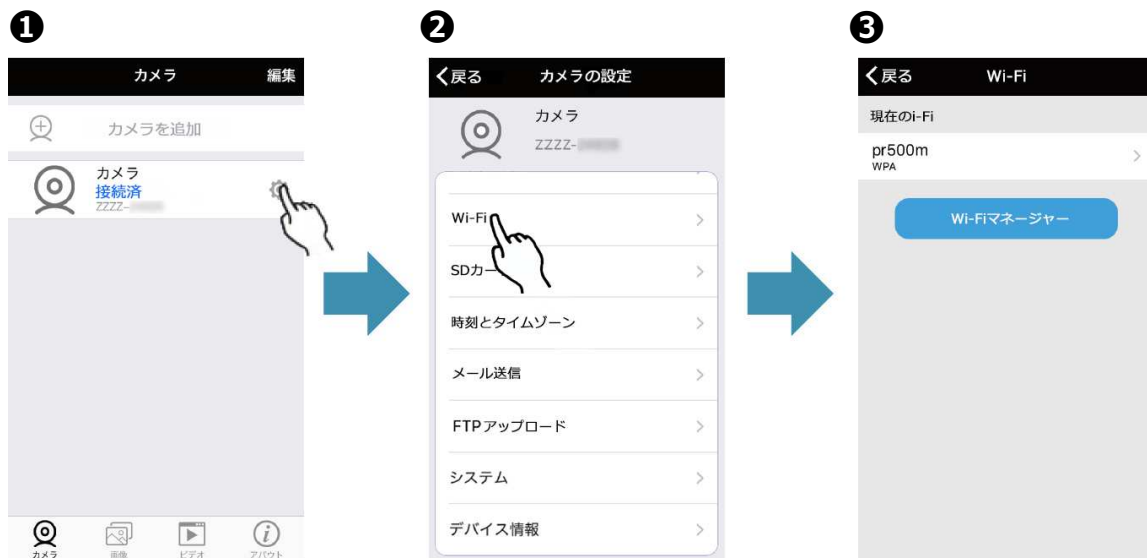


「適用」をタップすると、設定した録画条件が反映されます。

※microSD カード 256GB を使用した場合の初期設定(ビットレート 1536kbps/フレームレート 30fps/画質 1)での録画時間の目安は、約 14～20 日間です。

17.Wi-Fi

Wi-Fi に関する設定をします。



- ①カメラリストから設定をするカメラの設定アイコン⚙️をタップします。
- ②カメラの設定画面で「Wi-Fi」をタップします。
- ③Wi-Fi 画面で、Wi-Fi パスワードの変更と別の Wi-Fi へ接続変更をします。



接続中の Wi-Fi パスワードを変更します。

周辺の Wi-Fi を検索して表示しますので、Wi-Fi パスワードを入力して、接続する Wi-Fi を変更します。



18.SD カード

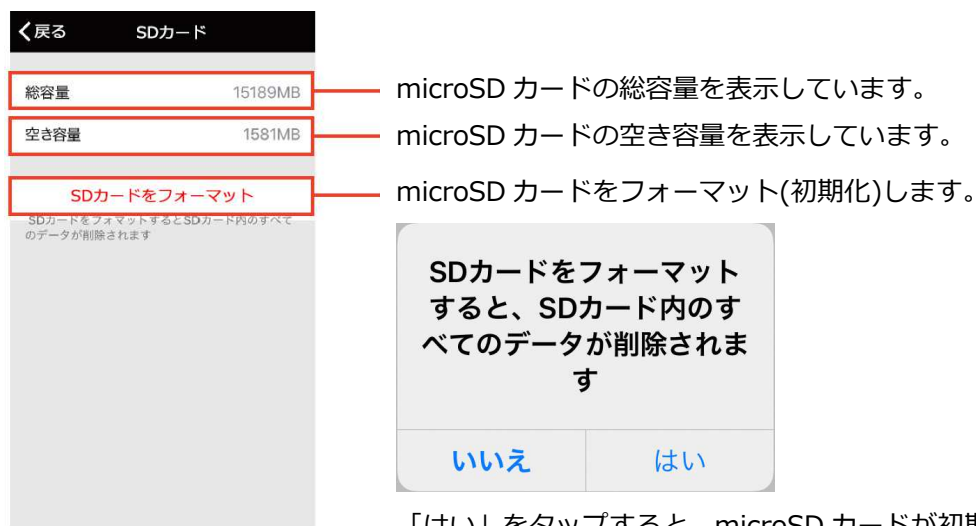
microSD カードの容量確認とフォーマット(初期化)をします。



①カメラリストから設定をするカメラの設定アイコン⚙️をタップします。

②カメラの設定画面で「SD カード」をタップします。

③SD カード画面に microSD カードの容量確認とフォーマットをします。



「はい」をタップすると、microSD カードが初期化されます。

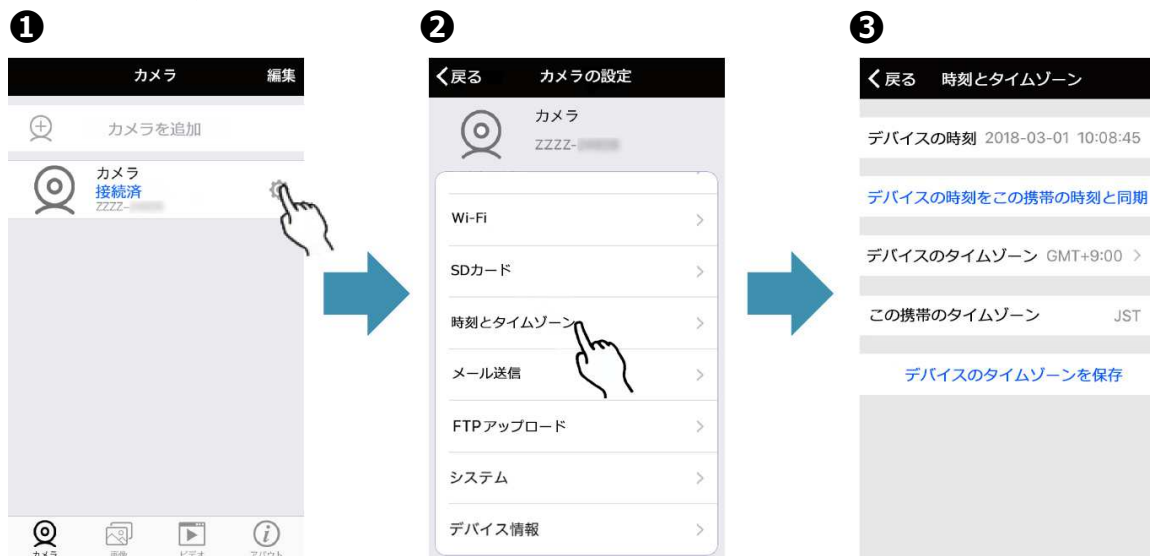
必読!

microSD カードをフォーマットした場合、記録した動画・静止画データは全て削除されます。

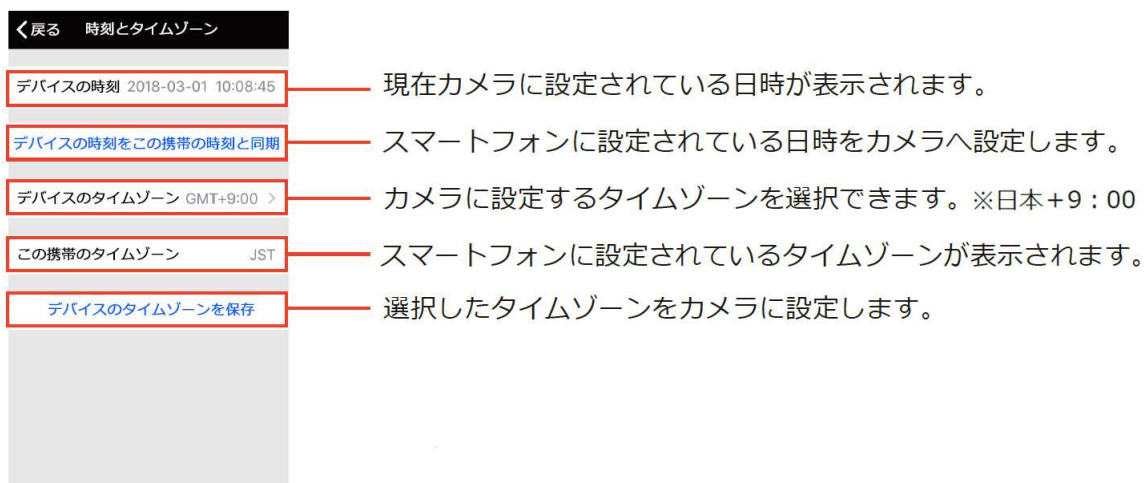
削除されたデータは復元することができませんので、重要なデータは、必ずパソコンなどにバックアップを作成してください。

19.時刻とタイムゾーン

カメラ本体の時刻設定をします。



- ①カメラリストから設定をするカメラの設定アイコン[⚙]をタップします。
- ②カメラの設定画面で「時刻とタイムゾーン」をタップします。
- ③時刻とタイムゾーン画面に日時情報が表示されますので、日時情報に間違いがある場合は、正確な日時情報を設定してください。



タイムゾーンを変更した場合は、必ず「デバイスのタイムゾーンを保存」をタップしてください。

20.メール送信

カメラの撮影範囲内で人体を検知したときに、指定したアドレスへ撮影した静止画をメール送信します。※メールが送信できるネットワーク環境が必要です。



①カメラリストから設定をするカメラの設定アイコンをタップします。

②カメラの設定画面で「メール送信」をタップします。

③メール送信画面で、各メール情報を入力します。

メール送信	
SMTPサーバー	SMTPサーバーを指定します。
ポート 25	ポートを指定します。
暗号化 None	暗号方式を選択します。
認証 <input checked="" type="checkbox"/>	認証のオン/オフを選択します。
ユーザー名	ユーザー名を入力します。
パスワード	パスワードを入力します。
送信先アドレス	受信するアドレスを入力します。
送信元アドレス	送信するアドレスを入力します。
件名	送信するメールの件名を入力します。
本文 テスト送信	メールの本文を入力してメール送信ができるかテストをします。

「適用」をタップすると、設定した内容が保存されます。



メール送信をする場合は、「動体検知アラームの動作」で「画像をメールで送信」を「オン」にしてください。(22 ページ参照)

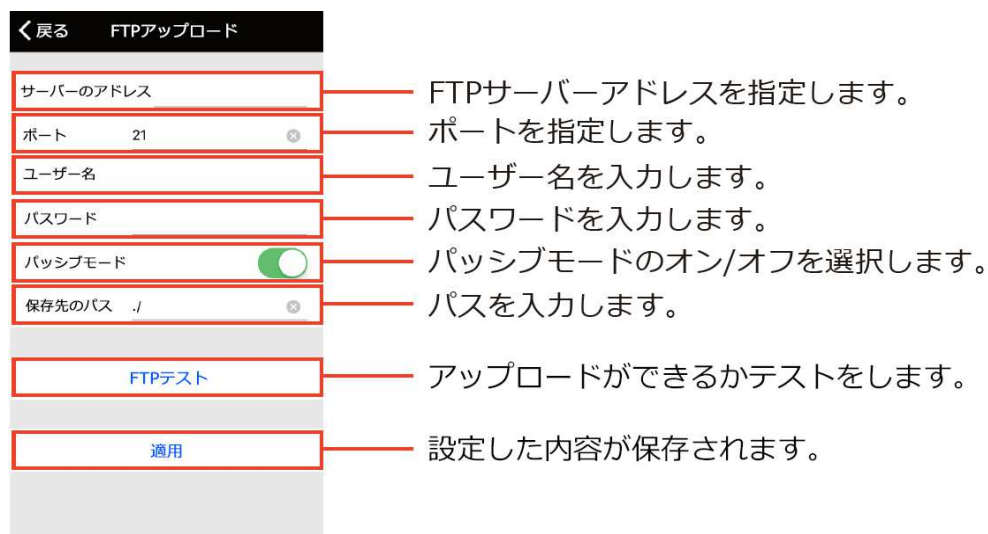
入力する各メール情報については、ご使用になるメールサーバーの情報をご確認ください。

21.FTP アップロード

カメラの撮影範囲内で人体を検知したときに、指定したサーバーへ撮影した静止画または、動画をアップロードします。※FTP サーバーが使用できるネットワーク環境が必要です。



- ①カメラリストから設定をするカメラの設定アイコン⚙️をタップします。
- ②カメラの設定画面で「FTP アップロード」をタップします。
- ③FTP アップロード画面で、各 FTP 情報を入力します。



確認!

FTP アップロードをする場合は、「動体検知アラームの動作」で「画像をFTPサーバーに保存」または、「動画をFTPサーバーに保存」を「オン」にしてください。(23 ページ参照)

入力する各 FTP 情報については、ご使用になる FTP サーバーの情報をご確認ください。

22.システム

カメラの再起動とリセット(初期化)をします。



①カメラリストから設定をするカメラの設定アイコン⚙️をタップします。

②カメラの設定画面で「システム」をタップします。

③システム画面で、カメラの再起動または、カメラのリセット(初期化)をします。

注意!

カメラのリセットをすると、再度通信設定をする必要があります。

23.デバイス情報

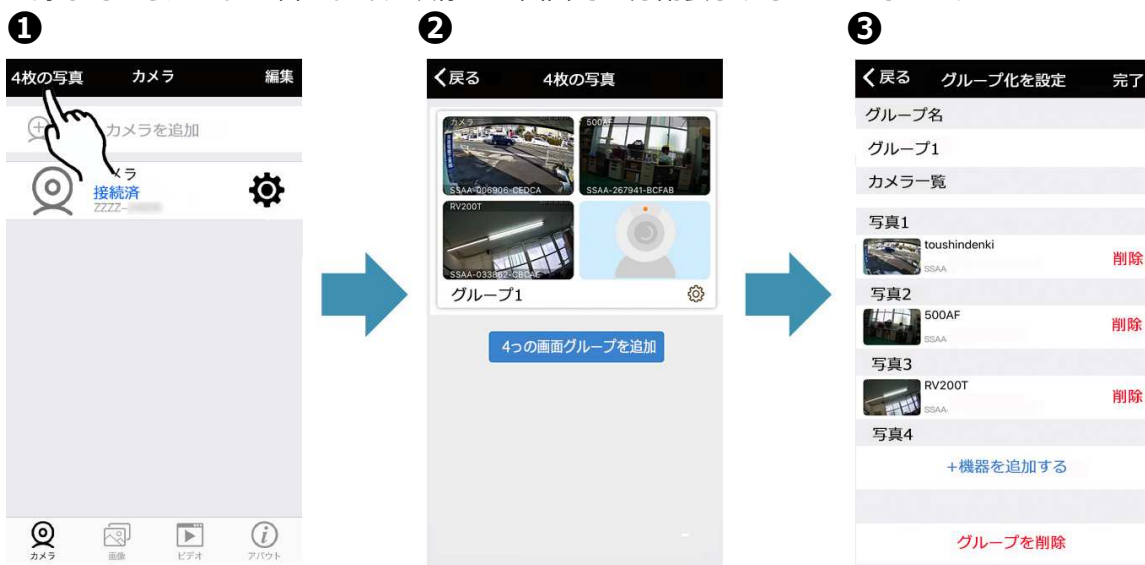
カメラの情報と通信状況を確認できます。



- ①カメラリストから設定をするカメラの設定アイコン[⚙]をタップします。
- ②カメラの設定画面で「デバイス情報」をタップします。
- ③デバイス情報画面で、カメラの情報と通信状況を確認できます。

24.4 枚の写真

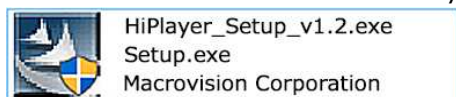
登録しているカメラ 4 台のライブ映像を 1 画面で 4 分割表示することができます。



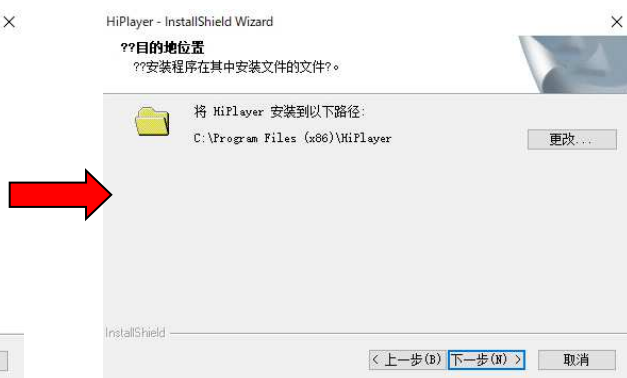
- ①カメラリスト画面左上の「4 枚の写真」をタップします。
- ②グループ別の 4 分割画面をタップすると、画面全体に 4 分割でライブ映像が表示されます。
- ③グループ名の変更、カメラの登録/削除をする場合は、設定アイコン[⚙]をタップします。

25.パソコンでの録画データの再生

付属の CD-R からパソコンに「HiPlayer」をインストールします。



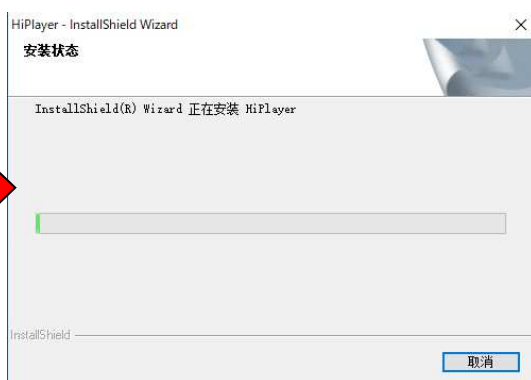
ようこそ画面が表示されますので「下一步」(次へ)を選択します。



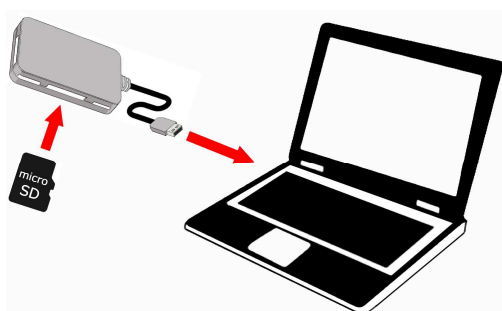
インストール先フォルダを指定して「下一步」(次へ)を選択します。



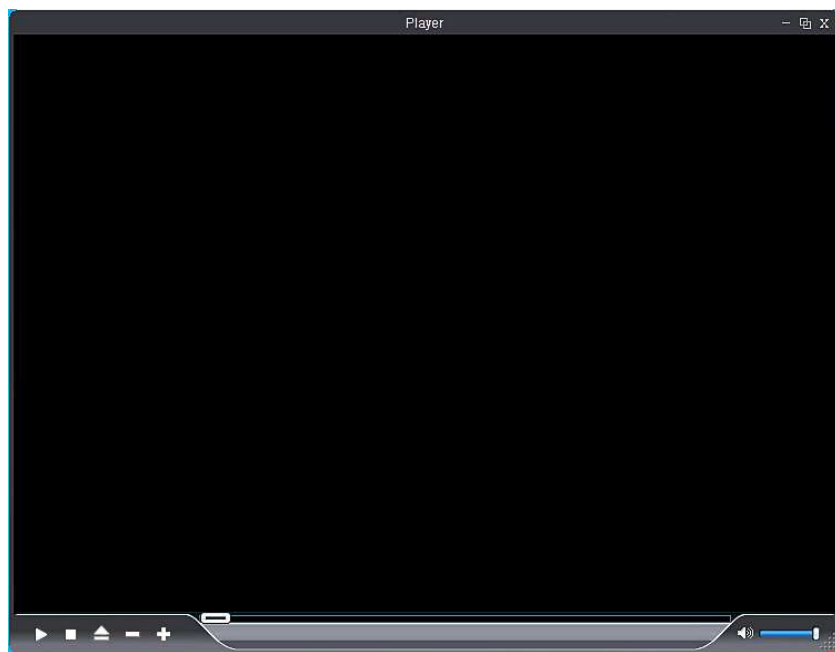
確認画面が表示されますので「安装」(インストール)を選択します。



インストールを開始します。



microSD カードスロットから microSD カードを取り外して、パソコンへ接続します。microSD カードとパソコンの接続には、カードリーダーなどを使用してください。



▶/	再生/一時停止	-	スロー再生(1/2,1/3,1/4)
■	停止	+	高速再生(×2,×3,×4)
▲	ファイルを開く	🔊	音量調整

26.製品仕様

イメージセンサー	1/2.8 インチ 5M Sony CMOS
レンズ	2.7～13.5mm
視野角	水平約 96～36°/垂直約 70～27°
ノイズリダクション	3DNR
シャッタースピード	1/25～1/25000s
S/N 比	39.1dB 以上
通信規格	IEEE 802.11b / g / n
周波数帯	2.4GHz
セキュリティ	64/128-bit WE P /WPA/WPA2/WPA-PSK/WPA2-PSK
同時アクセス数	最大 3(ダイレクト接続:1)
映像圧縮方式	H.265
録画解像度	2560×1920
録画フレームレート	30fps
録画モード	連続/動体検知(15 秒)/手動
記録媒体	microSD カード(最大 256GB/class10 以上) ※別売
対応 OS	Android/iOS APP
被写体最低照度	0.01Lux ※白黒撮影
赤外線照射距離	最大約 30m 特殊 LED8pcs
時計精度	月差±1 分以内(NTP 対応)
防水性能	IP66(本体のみ)
電源	DC12V±1V
消費電力	最大約 6W
ケーブル長	約 0.4m(LAN 端子/電源/リセットボタン)
本体寸法	75(W)×78(H)×255(D)mm
重量	約 570g
使用動作温度範囲	-10～50℃
付属品	AC アダプター・取付ネジ・六角レンチ 防水コネクター・防犯ステッカー・PC 再生用ソフト

27.修理について

- ・不具合の原因が、一時的な誤作動や設定によるもので、物理的な異常が無い場合があります。修理のご依頼の前に、電源の再起動、設定の初期化をお試ください。
- ・現場への出張修理は行っておりません。保証期間内外を問わず、修理対応はセンドバックとさせていただきます。
- ・破損などの状態により修理ができない場合があります。
- ・部品保有期間切れのため修理ができない場合があります。
- ・修理のご依頼につきましては、ご購入頂きました販売店へご相談ください。

免責事項

- 本製品は、防犯を保証する機器ではありません。製品の動作の正常・異常に関わらず、犯罪や事故が発生した場合の損害について、当社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 製品の設置(取り付け、取り外し)などによって生じた建物などへの損傷や、その他の損傷について、当社は一切の責任を負いません。
- 火災・水害・地震・落雷などの天災地変及び公害・塩害・ガス害・異常電圧・指定外の使用電源などによる損傷について、当社は一切の責任を負いません。
- 製品の使用または、使用不能から生じる付随的な損害(利益の損失・事業の中断・記録内容の消失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。

販売元



東進電機工業株式会社

〒389-0505 長野県東御市和 1106-4

TEL:0268(75)7708 FAX:0268(75)8226

2022 年 5 月修正